



平成26年 10月10日 (金)

国土交通省関東地方整備局
千葉国道事務所

記者発表資料

高専生による橋梁点検の現地学習会を開催します。
～ 未来の土木技術者 橋の打音検査を体験 ～

高度経済成長期に集中的に整備された道路ストックの老朽化対策が緊急の課題となっている中、橋梁やトンネルなどの道路構造物を良好な状態に保全していくためには、「点検→診断→措置→記録」というメンテナンスサイクルを確実に進めることが重要となっています。

今回、千葉国道事務所ではこのメンテナンスサイクル確立の第一歩である橋梁点検について、将来の土木技術者を目指す木更津工業高等専門学校の御協力のもと、学生の皆様に直接現地で橋梁の近接目視や打音検査等の点検を体験していただき、その重要性を学習していただくことを目的に「橋梁点検の現地学習会」を開催することとなりましたのでお知らせします。

記

日時：平成26年10月16日(木) 13:15～15:40

場所：国道16号 おおたやま こうかきょう 太田山高架橋

おおた 千葉県木更津市太田地先 (参考資料1 参照)

参加者：木更津工業高等専門学校 学生の皆様 20名程度

※報道機関の皆様へ

- ・当日、現地学習会の状況等は自由に取材が可能です。
- ・取材を希望される場合は、10月14日(火) 17時までに、下記問い合わせ先にご連絡下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、千葉市政記者会、木更津記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

電話 043-287-0311 (代表)

副所長 う と ゆうじ 宇都 優二

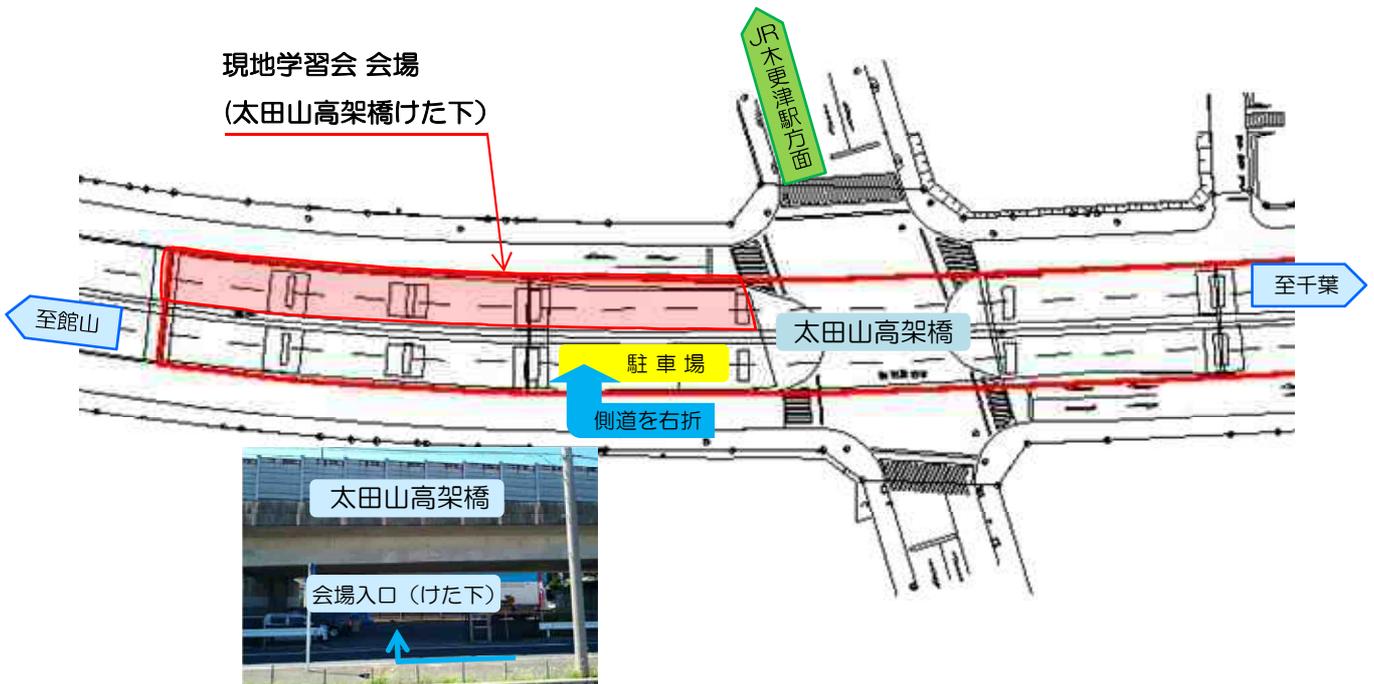
みやかわ ひであき 管理第二課長 宮川 英明



<位置図>



<会場詳細図>



< 現地学習会の概要 >

項目	内容
学習項目A	<p>◎橋梁定期点検要領に基づくコンクリート上部工の点検</p> <p>(高所作業車に搭乗していただき点検)</p> <p>①近接目視による損傷状況(ひびわれ、コンクリート剥離等)の確認。 ②点検ハンマーによる打音検査。 ③損傷図を作成。 等</p>
学習項目B	<p>◎橋梁定期点検要領に基づくコンクリート下部工の点検</p> <p>(梯子に登っていただき点検)</p> <p>①近接目視による損傷状況(ひびわれ、コンクリート剥離等)の確認。 ②点検ハンマーによる打音検査。 ③損傷図を作成。 等</p>
学習項目C	<p>◎コンクリート部材の劣化状況(塩害等)を調査(コア抜き)する際に必要となる非破壊試験の実演</p> <p>①鉄筋探査レーダーによる橋脚の鉄筋探査。</p>
学習項目D	<p>◎鋼部材の疲労亀裂の状況を詳細把握するための非破壊試験の実演</p> <p>①磁粉探傷試験による鋼材(供試体)の鋼材亀裂長の測定。 ②超音波探傷試験による鋼材(供試体)の亀裂深さの測定。</p>